



田端 修 Osam Tabata

都市観察・都市評論 工学博士・技術士（都市および地方計画）

Email : qqgd4esd@sunny.ocn.ne.jp  
〒567-0861 大阪府茨木市東奈良2-7-B405  
TEL: 072-635-7419 FAX: 072-635-7419

■主な経歴

1939（昭和14）年 京都市生まれ  
1962（昭和37）年 京都工芸繊維大学（建築）卒  
1965（昭和40）年 京都大学大学院（修士）終了  
1972（昭和47）年 京都大学大学院（博士）終了  
1977（昭和52）年 大阪芸術大学講師。  
助教授・教授をへて2010（平成22）年 同退職。  
この間、住環境学研究所を主宰し、都市計画・デザインの調査研究実務に参画。2010年同閉所

■著書

単著「町なかルネサンスー職住遊の都心再生論」（学芸出版社、1985）  
単著「和の都市デザインはありうるかー文化としてのヒューマンスケール」（学芸出版社、2010）  
共編著「都市デザインの手法ー魅力ある町づくりへの展開」（学芸出版社、1990）  
共編著「路地研究ーもうひとつの都市の広場」（鹿島出版会、2013）

■活動のビジョン

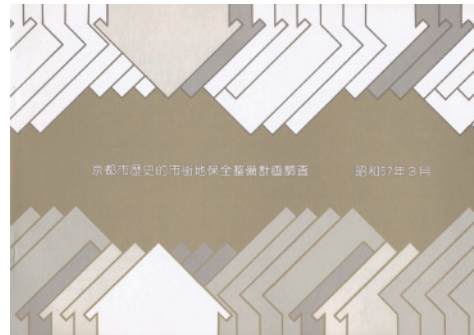
いまはフリー。ひと仕事を終えたとは思わないが、社会的・組織的には一段落のとき。これからは都市の現在を見直し、ささやかに未来を考えようというところ。  
わたしたちの世代は、国土全体にわたって農業型社会から都市型社会へと変わる環境づくりの作業に関わり続けてきた。眺めわたしてみれば、それらは部分的な改変の積み重ねであり、結果としての都市環境の総体はいまもって不明である。問題もいっぱいある。そのことをふつうの市民に伝える作業・仕事が必要であろうと思う。

■自身が考える都市デザイン、まちづくり等の課題と解決策等

まちづくり活動などに参加している積極層というよりは、ごくふつうの市民に都市環境のあり方への関心を向けてもらうお手伝いや方策の提示・検証。さて、なにが出来るか？いまのところは、雑誌・コミュニティペーパー等への執筆寄稿や、例えば俳句によって都市を詠むなど、チャンスを探している。

■自身が関わった活動・作品・現場の概要

- 1 都心居住推進策にかかる調査研究
  - ・都心定住環境調査／京都市／1980
  - ・生活圈整備構想策定調査／大阪市／1987
  - ・大阪都心居住調査／都市基盤整備公団／2001
- 2 文化行政推進策にかかる調査研究
  - ・1%システム事業等調査／兵庫県／1980～82
  - ・文化費用システムに関する調査／大阪府／1980
  - ・公共施設の文化化調査／大阪府／1989
- 3 市街地再整備・まちづくり推進策への参加
  - ・伏見地区保全整備調査／京都市／1982
  - ・再開発方針策定調査／大阪市／1983
  - ・先斗町まちづくりコンサルタント業務／1997～99
  - ・夕陽丘 木の都計画／一心寺／2008
- 4 都市景観形成推進策にかかる調査・提案
  - ・景観形成基本調査／兵庫県／1985
  - ・景観整備基本計画／大阪市／1987～91
  - ・鴨東美観地区調査／京都市／1990
  - ・風致地区基準など見直し調査／京都市／1993
  - ・屋外広告物整備関連調査／京都市／1993～96



■おすすめ景観

京都・高瀬川沿いの桜（京都府）

歴史に色どられた運河・高瀬川にそう木屋町通り界限。中心繁華街に桜が満開という景色、まさに都市的景観の極致。この季節は、昼（右図）も夜（上図）も人で溢れる。そこで一句「木屋町は 降る花ひとつと 歩調合い」

